

**社会資本総合整備計画
(社会資本整備総合交付金)
事後評価書**

**《下水道管の整備》
H27～H28**

【下水道課】

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金） 事後評価書

平成30年 8月 6日

計画の名称	米沢市における汚水整備の促進と処理施設等の健全化による水の安心推進計画															
計画の期間	平成27年度 ～ 平成28年度（2年間）				交付対象	米沢市										
計画の目標	事業計画区域内における未普及地域の早期解消を図る。															
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 下水道処理人口普及率を、63.5%（H27）から64.7%（H28）に増加させる。 															
定量的指標の定義及び算定式	① 下水道処理人口普及率 下水道可能人口（人）／住民基本台帳人口（人）						定量的指標の現況値及び目標値			備考						
							当初現況値	中間目標値	最終目標値							
							(H27当初)	(H27末)	(H28末)							
		63.5%	64.2%	64.7%												
全体事業費	合計 (A+B+C)	173.6百万円	A	173.6百万円	B		C		効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	0.0%						
事後評価																
○事後評価の実施体制、実施時期																
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期										
評価委員会で数値目標の達成状況や事業効果の発現状況を検証する。						平成30年度（平成28年度事業が繰越し、平成29年度に完了したため）										
						公表の方法										
						市のホームページに掲載										
1. 交付対象事業の進捗状況																
交付対象事業																
A1 下水道事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間（年度）				全体事業費 （百万円）	備考
											H27	H28				
A1-1	下水道	一般	米沢市	直接	-	汚水	新設	東部第1汚水幹線系枝線（未普及解消）	L = 0.1km	米沢市					20.7	
A1-2	下水道	一般	米沢市	直接	-	汚水	新設	東部第1-2汚水幹線系枝線（未普及解消）	L = 0.1km	米沢市					7.2	
A1-3	下水道	一般	米沢市	直接	-	汚水	新設	東部第3汚水幹線系枝線（未普及解消）	L = 0.5km	米沢市					91.8	
A1-4	下水道	一般	米沢市	直接	-	汚水	新設	西部第1-1汚水幹線系枝線（未普及解消）	L = 0.2km	米沢市					24.7	
A1-5	下水道	一般	米沢市	直接	-	汚水	新設	西部第3汚水幹線系枝線（未普及解消）	L = 0.1km	米沢市					24.2	
A1-6	下水道	一般	米沢市	直接	-	汚水	全種	基本的な計画見直し業務	効率的な事業実施のための全体計画の見直し	米沢市					5.0	
小計（下水道事業）											173.6					
合計											173.6					

B 関連社会資本整備事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考			
										合計								
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考			
C 効果促進事業																		
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)				全体事業費 (百万円)	備考			
										合計				0.0				
番号	一体的に実施することにより期待される効果														備考			

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況				
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・事業計画区域内において、汚水整備を実施し、未普及地域の早期解消が図られた。		
II 定量的指標の達成状況	指標① (下水道 処理人口普及 率)	最終目標値	64.7%	目標値と実績値 に差が出た要因 当初、汚水整備の実施により、下水道可能人口が増加すると想定したが、想定以上に人口減少が著しく、 下水道可能人口が減少する結果となったため、目標値を下回る結果となった。
		最終実績値	64.1%	
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		・汚水整備を実施したことにより、生活環境保全及び公衆衛生の向上が図られた。		
3. 特記事項 (今後の方針等)				
・今後も引き続き、市内東部・西部の未普及解消を図るべく整備を推進する。				

